

平成18年度 第36回九州中学校バスケットボール競技大会 記録速報

日 時	平成18年8月6日(日) 9時30分開始		
会場名/コート	佐賀県立総合体育館 Aコート 第一試合		
試合項目	男子 1回戦		
Aチーム 城東中学校 (大分県)	90	$\left\{ \begin{array}{l} 30 - 10 \\ 25 - 11 \\ 23 - 10 \\ 12 - 16 \\ - \end{array} \right.$	47 Bチーム 土々呂中学校 (宮崎県)

第1ピリオド開始から、城東はゾーンプレスとマンツーマンのチェンジングディフェンス、土々呂のハーフコートマンツーマンで試合開始。城東#4ドライブからのシュートで相手のファールを誘いカウントワンスローを決め3-0とする。それに対し土々呂は、#6が長身を生かしポストからのインサイドシュートを決め5-2と応戦する。この後も城東はプレスディフェンスでWチームから相手のミス誘い、連続でポイントを重ねる。残り5分40秒10-2となったところで、土々呂ベンチはタイムアウトを請求し反撃を試みる。この後、土々呂は#5#4の連続ポイントで11-6と追いつけるが、城東はインターセプトからの速攻や#12の3Pシュートなどで連続14点を奪い、25-6とする。第1ピリオドは残り1秒で城東#5がフリースローを2本とも決め、30-10で終わる。

第2ピリオド開始後、土々呂は#4と#5の連続ポイントなどで34-19と追いつけるが、城東はこの後ディフェンスの手をゆるめず、連続19ポイントを重ね53-19とする。この後土々呂6番がゴール下のシュートを決めるが、残り3秒で城東#7がシュートを決め55-21で前半を折り返す。

後半城東のオフェンスでスタート。土々呂は、オールコートプレスディフェンスで追い上げをはかるが、城東#12が落ち着いてボール運び、#4が得点し、点差はちぢまらない。残り5分土々呂のタイムアウト後ショットガンでチャンスをつくるが、ミスも目立つ。逆に、城東は#7がリバウンドや速攻での得点で活躍し、残り3分67-27と40点差に開く。土々呂は#5のペネトレイトで得点するが、ゴールが続かない。

第4ピリオド城東はボール運びにミスが目立ち、土々呂は#7#6のスティールから得点。#4が終盤に連続得点するものの、その後両チームとも得点がのびず、90-47で試合終了。

Aチーム 大分市立城東中学校(大分県)							
No	選手名	PI-in	3P	2P	FT	得点	ファウル
4	佐藤 康之郎	(x)	1	9	3	24	1
5	堤 敏記	(x)		6	3	15	1
6	永見 純輝	x		1		2	
7	佐藤 克介	(x)		7		14	
8	荒木 章吾	x		2		4	
9	菅 雅敏	x				0	
10	武津 祐太郎	x		1		2	
11	利光 孝太	x				0	
12	財前 翔平	(x)	3	4	1	18	1
13	紀 亮輔	x		3		6	1
14	栗林 誠一	(x)	1	1		5	1
15	山城 秀樹	x				0	
16	平井 麗斗					0	
17	幸 聖也					0	
18	宇野 仁					0	

Bチーム 延岡市立土々呂中学校(宮崎県)							
No	選手名	PI-in	3P	2P	FT	得点	ファウル
4	五十川 裕真	(x)		5	2	12	3
5	姫野 大地	(x)	1	6		15	2
6	日高 智昂	(x)		5		10	1
7	池田 聖	(x)		3		6	3
8	須田 翔太	(x)		1		2	3
9	佐藤 佑樹	x		1		2	1
10	石山 楓太	x				0	1
11	高橋 紀之	x				0	
12	日野 景太	x				0	
13	柳田 信一郎	x				0	2
14	長谷川 喬史	x				0	
15	甲斐 拓磨	x				0	
16	植田 将崇	x				0	
17	奈須 大尚					0	
18	小泉 祐輔	x				0	